



①多くの家屋が倒壊した黒川地区②石垣が崩壊した立石神社(新所区)③国道57号線につながる阿蘇大橋は崩落④本震が発生した時刻で止まった時計⑤道路に崩れ落ちたコンクリートの塊⑥倒壊した家屋⑦足の踏み場もないほど部屋が散乱した家屋⑧コンクリート片が落下した中松小学校体育館

熊本地震の記録

4月14日午後9時26分、最大震度7、マグニチュード6.5の前震が発生。本村は震度5弱を観測しました。村は、14日午後10時に災害対策本部を設置し、避難所運営要員を11カ所に70人配置しました。

さらに、16日午前1時25分、最大震度7、マグニチュード7.3の本震が発生し、本村の震度は6強を観測しました。本震発生直後、一斉に電気が消え、すぐに隣近所に「大丈夫ですか!」と声を掛け合う人、恐ろしさで家の中から逃げ出せず震えていた人、瓦礫の下敷きになり助けを求める人…。そして今回の地震で16人の尊い命が奪われる事態となりました。

夜が明けると、村内一帯には悲惨な光景が広がっていました。道路の崩壊、倒れかかった電柱、滑り落ちた土砂、道路をふさいだ大きな石、さらに「阿蘇大橋」の崩落と、「俵山トンネル」の崩壊で村の大動脈が失われ、家屋は全壊・半壊あわせて600棟以上(6月22日現在)に上りました。

村内に設置された避難所や水源駐車場など最大19カ所に2,688人が避難し、たびたび起こる余震に襲われながら不安な日々を過ごしました。



①本震翌日(4月17日)の旧立野小学校では、地元の皆さんで炊き出しが行われました②旧久木野中学校に集められた物資③り災証明書発行のための家屋調査が行われました④長陽運動公園グラウンドに建設が進められている仮設住宅⑤災害廃棄物仮置場には多くのゴミが集められました(旧白水中学校グラウンド)⑥「生活再建に関する受付窓口」を地区ごとに1日あたり50世帯を対象に開設しました⑦全国各地から応援メッセージが届き、避難所などに張り出しました⑧蒲島知事に村内の災害状況を説明する長野村長ら関係者

村の回数(震度1以上)	
4月14日~31日 (26日午後6時までは 震度3以上をカウント)	231
5月1日~31日	84
計	315

震度	回数	震度	回数
7	2	4	88
6強	2	3	263
6弱	3	2	574
5強	4	1	570
5弱	7	計	1,613

4月14日~5月31日の熊本県(熊本地方・阿蘇地方、大分県(西部・中部)震度1以上の最大震度別回数